

のぞましい家庭教育のしおり

令和7年9月
第649号
刈谷市教育委員会
刈谷市児童生徒愛護会

～敬老の日から考える～

敬老の日とは日本の国民の祝日の一つで、毎年9月の第3月曜日に設定されています。したがって、今年は9月15日が敬老の日となっています。この日は家族が集まって祖父母や親を訪問することが一般的で、一緒に食事をしたり、プレゼントを渡したりすることが多いようです。

私自身、祖父母と一緒に暮らしたことがなかったので、高齢者と接する機会がありませんでした。しかし、お盆とお正月の2回だけ、母方の祖父との交流がありました。親戚一同が祖父に会うために、抹茶に合うお菓子を種類持ち寄り、祖父宅にお昼頃に集合することが恒例でした。そして、祖父の大好きなお寿司をみんなで食べ、おいしいお酒を飲んでの大宴会が始まります。宴もたけなわとなる午後3時頃になると、祖父の「そろそろお茶を点てるか」という合図で、まずは、祖父と一緒に孫たちが茶室に行って、祖父の点てる抹茶を飲みながら、親戚一同が手土産で持参したお菓子を食べます。幼い頃の私は、苦みがある抹茶が苦手で、大好きな祖父の点てた抹茶なので飲もうとするのですが、その苦さに顔をしかめていました。そんな私の姿を見て、にっこりと笑う祖父の姿や、「無理に飲まなくてもいいから雰囲気を楽しみなさい」「お菓子を食べながらみんなで楽しく会話をすればいいよ」と優しく声をかけてくれた言葉が、とても印象に残っています。祖父と孫たちとのたわいもない会話の時間ですが、何か話すたびに祖父が優しく微笑みながら、「がんばったね」「すごいね」「成長したね」などと言ってくれることが、うれしくて仕方がなかった記憶があります。祖父と孫たちのお茶会が一段落すると、次は、祖父と大人たちのお茶会が始まります。幼かった私には、どんな会話をしているかはよく分かりませんでしたが、祖父だけでなくその場に居る全員が、楽しく笑顔で話していて、一緒にいるだけで心地よかったことをよく覚えています。そして、祖父の「楽しかったなあ。わしも元気にするで、また会おう」の合図で解散となり、みんな笑顔で帰宅します。そんな経験から、私は近所のお年寄りと積極的に挨拶をしたり、会話をしたりするようになりました。挨拶や会話で、お互いが笑顔になったり、元気になったりすることを祖父から学んだからです。

敬老の日に、一緒に食事をしたり、プレゼントを渡したりするということもよいと思いますが、敬老の日に限らず、家族や親戚などが集まって、祖父母らと楽しく会話をしたり、地域のお年寄りや挨拶や会話を交わしたりする、そんな触れ合いを日頃から大事にしていきたいものです。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 子ども相談センター ～子どもに関する相談の総合的な窓口～

月～土曜 9時～17時（国民の祝日・年末年始を除く）

電話相談・来室相談

☎0566-62-6313

・愛知県 教育相談こころの電話 10時～22時 ☎052-261-9671